



松崎町 まち歩きマップ

個性豊かな松崎の街を散策しよう！

まちなかエリア
主要スポットを押さえよう



伊豆文の足湯

伊豆文の隣に整備された無料の足湯です。源泉掛け流しの温泉を楽しめます。散策の合間に足の疲れをほぐしてください。



浄泉寺

1414年(応永2)創建。山門の東側にある経堂は、中に回転する六面体の大きな輪蔵(写真)があり、輪蔵を回しながら拜むと、経を誦経した功德があるとされています。



室岩洞

昔、江戸城の石垣にも用いられたという石切り場跡を見学できるように整備した洞窟。昭和29年頃まで実際に採石が行われていました。



中瀬邸

明治20年(1887)に呉服問屋として財を成した豪商・依田直吉の邸宅です。現在は見学することができます。喫茶(有料)では松崎町名産の桜葉の塩づけを使った餅とお抹茶などが楽しめます。



伊豆文邸

明治43年(1910)の建物でかつては呉服商を営んでいました。所有者からの建物寄贈を受け、明治時代を代表する貴重な歴史建物として内部を整備。現在は、無料休憩所として開放しています。



浜丁(旧依田四郎邸)

那賀川河口の浜丁橋のたもとにある古民家です。角にある蔵が目印となっています。土曜・日曜にカフェと資料館としてオープンしています。



道の駅 花の三聖苑

郷土の三聖人の業績を中心に、松崎の歴史、文化を紹介する複合施設です。三聖人とともに、幕末の漢学者である土屋三余、明治期の実業家として名を馳せた依田佐二平、その弟で北海道十勝平野の開拓者である依田勉三です。



時計塔

明治商家中瀬邸の前にある新設計のデザインの時計塔。昭和62年に完成しました。この時計塔には13時の文字が刻まれており、ありえない13時に松崎のロマンを表現しています。



伊豆の長八美術館

ひととき目立つ白い建物が「しゅくい芸術の殿堂」と呼ばれる伊豆の長八美術館で、昭和59年(1984)にオープンしました。漆喰塗りの名工・入江長八の作品を中心に展示されています。

広域エリア
ちょっと足をのばしてみませんか



ときわ大橋

那賀川にかかる「ときわ大橋」は、なまこ壁で欄干を装飾した珍しい橋です。長さ30mの欄干両側に、桜の花、空を飛ぶツバメが漆喰で鮮やかに描かれています。



長八記念館(浄感寺)

浄感寺の本堂は、「長八記念館」になっており、名工・入江長八の作品とともに、堂宮彫刻の名匠・石田半兵衛作の唐獅子が見もの。『雲龍』と『飛天の像一対』は静岡県有形文化財。



岩科学校

明治13年(1880)に建てられた旧岩科学校。社寺風の趣きを取り入れた和洋折衷の学校建築で、伊豆地区では最も古く、現在は松崎町が管理。館内を見学することができます。国重要文化財。



那賀川沿いの桜並木

松崎町の中心を流れる那賀川沿いには約6km、約1200本のソメイヨシノが植えられ、3月下旬から4月上旬にかけて咲き誇る桜の名所です。開花時期には夜桜のライトアップも行われます。



近藤邸(なまこ壁通り)

薬学博士・近藤平三郎の生家。平三郎は薬剤開発で功績を残し、1958年には文化勲章を受賞している松崎が生んだ偉人の一人です。薬問屋だったこの建物は、長く続くなまこ壁が見事で、松崎町を代表する撮影スポットです。



伊那下神社

長い歴史を持つ神社です。境内には樹木が多く、樹齢千年を超える大イチョウは県の天然記念物に指定されています。また、神明水と呼ばれる名水が湧き、長寿の御利益があるとされています。



旧依田邸

松崎町大沢地区にある歴史的建造物です。古くは「依田ノ庄」とも呼ばれた依田家の屋敷で、最初に建てられた母屋は300年以上経っています。現在は町所有となり、見学が可能です。



大沢温泉の桜

那賀川の上流には「化粧の湯」とも呼ばれる良質な温泉が湧き出る大沢温泉があります。春には川べりに樹齢80年余の桜の大木が川面を覆うように咲き誇り見事です。

問合せ/0558-42-0745 (松崎町観光協会) ※建物内部には入れませんので、ご注意ください。

問合せ/090-7919-7780 住所/松崎町松崎 28

電話/0558-42-3964 時間/10:00~14:00 住所/松崎町大沢 153 ※本紙表面の地図に記載

問合せ/0558-42-0745 (松崎町観光協会) ※本紙表面の地図に記載